

平成29年度 十勝農試定期作況報告 菜豆

月	作況	事由
6月20日	平年並	播種期は平年より3日早く、出芽期も平年並から3日早かった。その後はやや低温で経過したが、草丈、葉数はほぼ平年並である。 以上のことから、現在の作況は平年並である。
7月20日	平年並	7月上旬以降かなり高温に経過したことから、開花始は平年より1~3日早かった。分枝数は手亡類、金時類ともに平年をやや下回っているものの、葉数は平年並で、草丈は手亡類で平年を上回っている。 以上のことから、現在の作況は平年並である。
8月20日	やや不良	草丈は手亡類で平年を上回り、金時類で下回っている。葉数および分枝数はほぼ平年並だった。8月上旬以降は低温寡照に経過したことから、着莢数は平年を下回っている。 以上のことから、現在の作況はやや不良である。
9月20日	不良	成熟期は手亡類が平年並、金時類は平年より4~7日早かった。手亡類は百粒重は平年より重かったが、着莢数および一莢内粒数は下回り、子実重は平年をやや下回った。金時類では、着莢数、一莢内粒数および百粒重のいずれも平年を下回り、特に「大正金時」は着莢数と百粒重が平年を大きく下回ったことから、子実重は平年を著しく下回った。8月中旬から成熟期までやや低温傾向で経過し、降雨が平年より少なかったことから、手亡類、金時類ともに屑粒率は平年より低かった。 以上のことから、現在の作況は不良である。
11月20日	不良	出芽以降は7月を除いて低温傾向であったため、金時類の生育はやや抑制されたが、開花始は平年より1~3日早かった。8月以降は低温で推移したが、成熟期は手亡類が平年並、金時類は平年より4~7日早かった。 手亡類の百粒重は平年より重かったが、着莢数および一莢内粒数は平年を下回り、子実重は平年をやや下回った。金時類は、開花期頃の高温干ばつおよび8月上中旬が低温寡照であったことから、着莢数、一莢内粒数および百粒重のいずれも平年を下回り、特に「大正金時」は着莢数と百粒重が平年を大きく下回ったことから、子実重は平年比76%と著しく下回った。 8月中旬から成熟期までやや低温で経過し、降雨が平年より少なかった。そのため、発芽粒や色流れ粒の発生は少なく屑粒率は平年を下回り、検査等級は平年並から上回った。 以上のことから、本年の作況は不良である。

生育データ

品種名	雪 手 亡			大 正 金 時			福 勝			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
項目/年次	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
播種期(月日)	5.25	5.28	△ 3	5.25	5.28	△ 3	5.25	5.28	△ 3	
出芽期(月日)	6.7	6.7	0	6.7	6.10	△ 3	6.8	6.11	△ 3	
開花始(月日)	7.15	7.18	△ 3	7.9	7.10	△ 1	7.9	7.11	△ 2	
成熟期(月日)	9.10	9.11	△ 1	8.26	8.30	△ 4	8.28	9.4	△ 7	
草丈 (cm)	6月20日	7.0	7.2	△ 0.2	11.2	10.4	0.8	10.7	9.9	0.8
	7月20日	70.6	57.0	13.6	46.8	51.7	△ 4.9	46.6	52.4	△ 5.8
	8月20日	79.9	66.9	13.0	47.0	53.7	△ 6.7	47.5	58.3	△ 10.8
	9月20日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	成熟期	81.5	64.5	17.0	51.2	52.7	△ 1.5	52.7	55.9	△ 3.2
葉数 (枚)	6月20日	1.1	1.2	△ 0.1	1.0	1.0	0.0	1.0	1.2	△ 0.2
	7月20日	7.6	6.8	0.8	4.1	3.7	0.4	4.1	3.9	0.2
	8月20日	7.9	7.2	0.7	4.0	3.8	0.2	4.2	4.0	0.2
	9月20日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
主莖節数 (節)	成熟期	9.7	8.7	1.0	6.4	5.7	0.7	6.6	5.8	0.8
分枝数 (本/株)	7月20日	6.9	8.7	△ 1.8	7.0	7.5	△ 0.5	6.2	7.2	△ 1.0
	8月20日	7.9	8.8	△ 0.9	6.2	6.2	0.0	6.3	5.6	0.7
	9月20日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	成熟期	6.2	7.9	△ 1.7	6.1	5.9	0.2	5.6	5.1	0.5
着莢数 (莢/株)	8月20日	30.9	35.1	△ 4.2	13.5	17.5	△ 4.0	15.4	16.8	△ 1.4
	9月20日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	成熟期	27.8	31.0	△ 3.2	15.1	16.9	△ 1.8	15.3	15.3	0.0
一莢内粒数(粒)	3.89	4.33	△ 0.44	2.55	2.78	△ 0.23	2.40	2.60	△ 0.20	
総重(kg/10a)	695	650	45	387	534	△ 147	444	555	△ 111	
子実重(kg/10a)	335	351	△ 16	192	253	△ 61	238	257	△ 19	
百粒重(g)	36.7	33.0	3.7	61.3	67.6	△ 6.3	77.9	81.6	△ 3.7	
屑粒率(%)	2.2	19.0	△ 16.8	7.5	16.4	△ 8.9	8.3	21.6	△ 13.3	
品質(検査等級)	2上	3下	-	3上	3上	-	2下	3上	-	
子実重対平年比(%)	95	100	△ 5	76	100	△ 24	93	100	△ 7	

- 備考 1) 平年値は、前7か年中、平成23年(豊作年)及び28年(凶作年)を除く5か年平均である。  
ただし、9月20日の各調査項目の平年値は、年次により成熟期後となるため算出していない。  
2) △は平年と比較して「早」、「少」、「短」、「軽」、「低」を表す。  
3) 屑粒は、病害粒、変色粒(色流れ)、未熟粒等を含む。  
4) 品質(検査等級)は、旧農産物規格規定(普通いんげんの規格その1(素俵))に準ずるものである。

耕種概要

一区面積 (㎡)	区制	前作物	畦幅 (cm)	株間 (cm)	1株本数	株数 (株/10a)	播種日 (月日)
12	3	春まき小麦	60	20	2	8,333	5.25
施肥量(kg/10a)							
N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	MgO	堆肥	その他		
4	20	11.2	4	なし	なし		